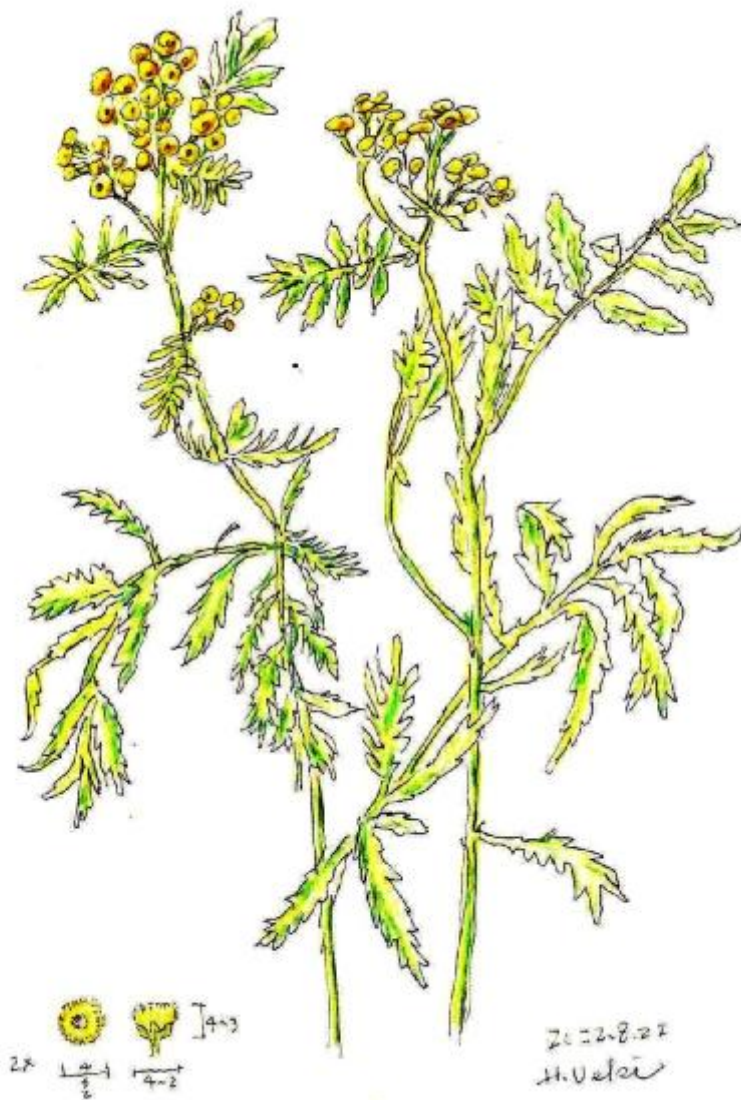


見ぬま田んぼ

野草スケッチ「タンジー」 蓬菊

分類：キク科 ヨモギギク属

花言葉：挑戦、抵抗、敵意、(婦人の) 美德 ※



いつもの農道を歩いていると、黄色い小さな花を付けている野草？が風に煽られたのか横倒し状態なのが目に入った。見たことがない花。一枝折って家に持ち帰りました。図鑑やネットで調べたがそれらしい花が見つからない。花のサイトに教えて頂こうとデータを入力しました。一日して回答がでました。「タンジー」とのこと。野草ではないのか。かつては内服薬や料理の香りづけに使われることもありましたが、現在では、飲食を含め内用は危険とされています。鑑賞用や虫除けなどのほか、茎葉からは緑がかった黄色、花からは黄色の染料が採れます。



☆

「タンジー」

世界：	原産地ユーラシア
生育地：	ヨーロッパからアジアにかけて分布。日本では変種とされるエゾヨモギギクが北海道に自生
茎 丈：	50～150cmほど
葉	羽状複葉で鋸歯があり、羽状の裂片が7～8組ほどに分かれる。10～15センチ程度
花期：	7月～9月
花・花色：	先端近くで枝分かれして密集したボタン状の黄色い花を複数個咲かせる。 黄色
種子：果実	
特徴：	人体に直接用いることは避け、ポプリの材料としてその香りを楽しむ、あるいは虫除けに使うのが無難
由来	
	写真と解説：Wikipediaと「タンジーとは-ヤサシイエンゲイ」からはワンフレーズを御借りしました。

2022. 9. 6